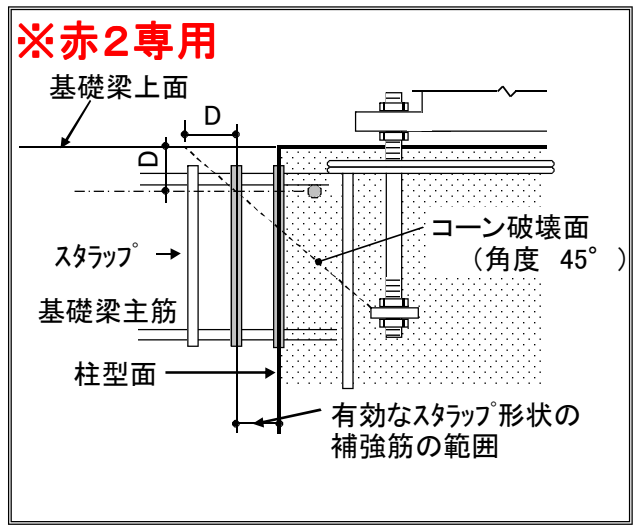
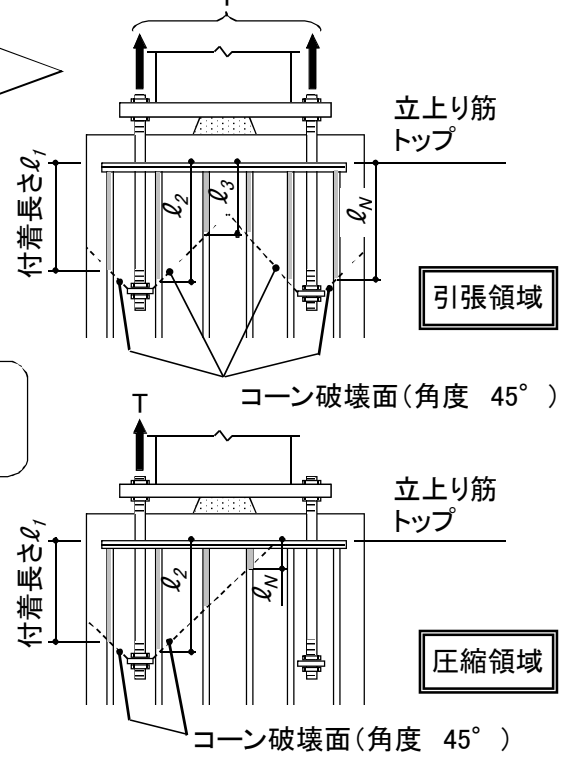
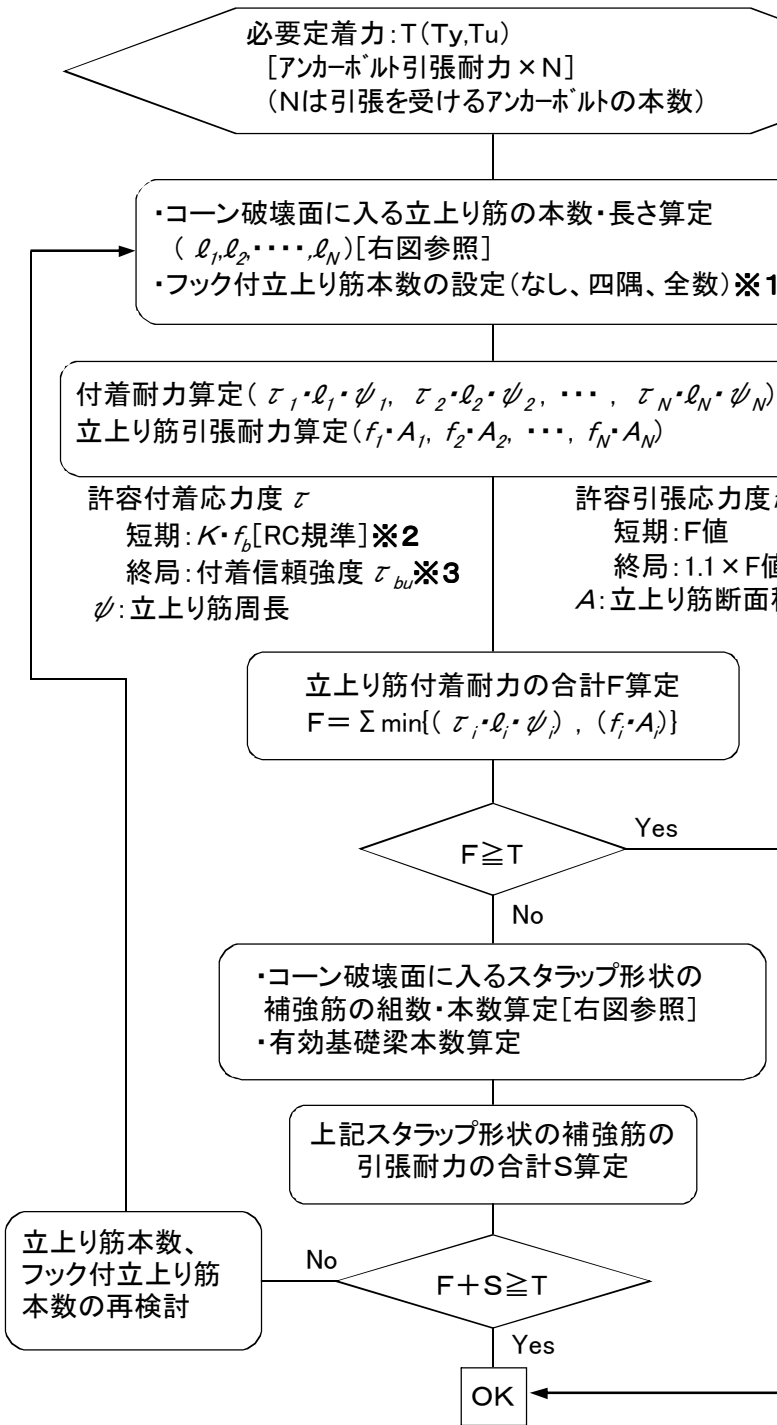


NCベースP 柱脚検定プログラム【赤1, 赤2】

— アンカーボルトの定着計算フロー —

日本鑄造株式会社



- ※1 立上り筋にフックを付けた場合は、その効果を含める(RC規準 16条による)
フック付の場合の算定は、以下による
①付着耐力検討にて、立上り筋トップからフック開始点の長さ減
②立上り筋の引張耐力の1/3を加算
- ※2 RC規準(鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説(2010))

$$\tau_y = (\sigma_y \cdot d_b) / \{4(\ell_d - d)\} \leq K \cdot f_b$$
 [式(16.5)]

$$K = 0.3 \{ (C+W) / d_b \} + 0.4 \leq 2.5$$
 [式(16.6)]

$$f_b = F_c / 40 + 0.9$$
 [表16.1 付着割裂の基準となる強度 f_b]
- ※3 鉄筋コンクリート造建物の靱性保証型耐震設計指針・解説(1999)

$$\tau_{bu} = \alpha_t \{ (0.086b_f + 0.11) \sqrt{\sigma_B + k_{st}} \}$$
 [式(6.8.4)]